

表現のちからを感じる1日

アール・ブリュット in 苫小牧 2026

2026年2月28日(土)

展覧会

11:00 - 16:00

舞台公演

開場 13:00 ▶ 開演 13:30

主催 苫小牧の文化と福祉を考える会
後援 苫小牧市/苫小牧市教育委員会/株式会社苫小牧民報社
助成 苫小牧市民文化芸術振興助成事業/赤い羽根共同募金

苫小牧市文化会館
ホール、大展示室
北海道苫小牧市旭町2丁目8-19

入場無料(舞台鑑賞は事前申込制)



アール・ブリュット in 苫小牧 2026

アール・ブリュット in 苫小牧は、障がいのある人の絵画作品や舞台演劇、楽器演奏など芸術表現を通して、障がいの有無や性別、世代などに関わらず、差異や多様性を認め合える地域社会の未来を皆さんと一緒に考えるきっかけとして開催するものです。障がいのある人によるさまざまな表現を、シンプルに楽しんでみてください。

展覧会
11:00
16:00

「見つめる ちから」展 4

作家たちの世界を「見つめるちから」を紹介するとともに、わたしたちの世界を「見つめるちから」を問い直し、鑑賞の楽しみ方を改めて考える展覧会です。



昨年夏の展示風景

舞台公演
開場 13:00
13:30

スマイル4Beat

ピアノ NOBU、ボーカル TAKA、パーカッション MORI、ドラム KATSU による4人組バンド。童謡から、演歌、民謡、クラシック、最新のヒット曲まで持ち歌1000曲以上を組み合わせてどんなステージもこなす。目標は道内全各市町村でのコンサート。

劇団こころや

2021年春、「生活介護事業所こころや」のメンバーの息抜きのために行った、劇作家葛原瑞氏による演劇ワークショップをきっかけに結成。独特の感情表現や言葉が引き出され、メンバーにとって気持ちの開放に繋がっている。主な出演歴に「いっしょにね文化祭」(2022-25年)など。

さっぽろ太鼓衆 風

障がい者の団体「和太鼓サークル嵐」から、さらに上達したいと願うメンバーが集まり、2019年に札幌で結成。新芸能楽団乱拍子の指導の下、村場流八丈太鼓を中心に、障がいを越えた芸能を求めて活動している。村場流八丈太鼓は、一人ずつ違った感性による打ち方が重なり合う、迫力ある演奏が見所である。



お申し込み

下記いずれかの方法でお申し込みください。

WEB申込フォーム

<https://forms.gle/WJDpNzB36RdSwyUq8> もしくは



メール 以下項目を「toma.bunpuku@gmail.com」にお送りください

- ①氏名(ふりがな) ②年齢 ③申込人数 ④お住まいの地域
- ⑤連絡先(メールアドレスまたは電話番号)
- ※ご配慮が必要な場合、お知らせください。

FAX 以下項目をご記入後、「0144-55-3211」にお送りください

ふりがな 氏名			
申込人数	お住まいの 名 地域		
メールアドレス または電話番号			
ご配慮が必要な場合、こちらにご記載ください。			

会場：苫小牧市文化会館 - ホール、大展示室

北海道苫小牧市旭町2丁目8-19

アクセス

JR苫小牧駅南口より徒歩約20分

最寄りバス停「駅通十字街」市役所前より徒歩約10分



「アール・ブリュット」とは

フランスの画家ジャン・デュビュッフェにより提唱された、専門教育を受けない作家による「生の芸術」を意味する言葉です。障がいのある人による作品だけではなく、既存の芸術概念や流行、伝統の枠にとられない作品を指しています。

お問合せ：苫小牧の文化と福祉を考える会

TEL：070-7426-4464(担当：すぎき) / FAX：0144-55-3211

Email: toma.bunpuku@gmail.com